

石兵團會報



十月一日六〇  
浦添國民學校



一 自今申告書ハ端書(端書キトキハ端書ノ形式ニテ用紙隨意)ニテ提出ノコト

二 各部隊現地自活用仔豚ノ飼育ハ遂次開始セラレアルモ沖繩縣ハ豚ノ傳染病濃厚帯在地ニテ豫防注射ヲセザレバ全滅スルコトアリ 依テ巡回豫防注射實施上必要ナルニ付各部隊ハ仔豚購入ノ都度其ノ頭數購入町村名ヲ獸醫部ニ通報ノコト

三 那霸關南中學校ニ開設中ノ陸軍病院ハ沖繩陸軍下病院ニシテ那霸陸軍病院ニアラゲルニ付承知ノコト

四 巡察報告中 左ノ如キモノアリ

石第四八四部隊炊津隊林兵長曾加上等兵ハ九月二十八日外出證ヲ所持セズ 外出シ理髮店ニ立入りアリタリ





各隊兵出入口公亂雜ニシテ泥靴跡多シ(九月五日石原四益部隊)  
 石原三九二部隊陸軍上等兵田中清ハ公用證ヲ所持スシテ  
 九月五日築城材料ヲ運搬シタルハ不可ナリ  
 部隊號ノ標識ヲ附セザル兵多シ(九月五六日)  
 巡察懸章ヲ附シタル巡察官ヲ見テ道路ヨリ急ニ隠蔽スル  
 者アリ(九月五六日)  
 石原三九七部隊柴橋小隊ハ九月五日西原糧秣輸送歸途  
 西原一公長道ニ於テ轉覆スル部隊ノ自動貨車ノ引込作業  
 全員協同シ十分後之ガ引込作業ヲ完了セル  
 小隊長以下終始一貫徹底ニテ援助セル行爲ハ可ナリ  
 衛生班ハ後方施設担任部隊ニ格支付シ直接慰安所ヲ備  
 付スル行爲アリ  
 隊長 石原三九七部隊 柴橋小隊長 西原一  
 隊員 石原三九七部隊 柴橋小隊員 西原一  
 隊員 石原三九七部隊 柴橋小隊員 西原一  
 隊員 石原三九七部隊 柴橋小隊員 西原一

第六五號

石兵團會報



十月五日一〇〇〇  
浦添國民學校

石師參情第二號ニ對スル對策ヲ十月十二日兵團會報時ニ覺  
 上日迄準備書ニテ提出ス

北支那駐屯中附シタル戰傷表彰ハ自今使用セザルコト

交通監査規定ヨリ自動車ノ速度ハ左ノ如ク制限セラルニ付  
 念ノ爲

乗用車	市街地	二〇	市街地	三〇
自動貨車	市外街地	十五	市外街地	十五
	市外街地	十五	市外街地	十五

右ハ單車ノ場合ニシテ晝間ニ於ケル最大制限時速(第五條参照)

十八日飛行場作業中石原三五九二部隊下官一爆破ノ際負傷セリ  
 爆破教範第八三ニ示ス如ク時トシテ豫想スル地點ニ破片ヲ散飛スルコト



緑田

ルヲ以テ各部隊ハ注意ノコト

五 當部ニテ行タル集合教育巡回教育ノ結果ニ徹スルニ當部ヨリ

出セル通牒等ヲ中隊迄傳達セラレザルモアリ内務令第六〇

第六五ニ基キ命令普及徹底及軍隊ニ關係アル法令並ニ訓示

講評、達報告通報注意ノ處理ハ聯隊長(兵團アリハ大隊長)

ノ責任トストアリ副官庶務將校ハ注意ノ上隊長輔佐ノ任ヲ盡セ度

六 某隊ニテ手榴彈ニヨル事故發生セリ手榴彈ノ保管ニ方リテハ

注意ノ上必ス監視シテ所ニ收容シ時々點檢スル等遺漏セザル如ク注

意ノコト

七 公文書規則第五條ニ基ク文書提出ニ方リ同規則第三條ニ基キ

經由上官副申ノ要キモモ三條但書ノ處置ヲセラレ度

忽々ノ場合アリテモ少ナクモ認印ヲ要ス

當部ニ提出セララル、婚姻願ニ單ニ中隊長ノ認印ノシモアリ

〇 八 過般某部隊ニテ防衛擔任區域外ニ至リ深夜慰安所ヲ騷ガシ爲メニ

處分セラレタル事件アリ無断防衛擔任區域外ニ出ツルコトハ無断職

域ヲ離レタルト見做サレザルニ非ズ各部隊ハ嚴ニ注意シ將來カハル

コトナキ様指導ニト又各部隊ハ夫々防衛擔任區域外ニ出區域等

ヲ兵ニ徹底セシムルコト

〇 九 那霸ニ出張スルモノハ良ク注意シ軍紀風紀ニ遺憾ナキ如ク指導ス

コト 經理部出張所輜重隊ニ部 將校傳令自動車運轉兵等

ニ良ク教育スベシ

十 將來兵團ニ於テ行フ巡視兵内務ヲ著眼トセララル豫定ニ付各

部隊ハ豫メ準備ノコト

土巡察報告中左ノ事項アリ